

議会だより

第185号

令和5年
8月発行

えのかわ ひかり
題字：榮野川 光莉さん
嘉手納小学校6年



～主な内容～

令和5年6月定例会…………… P2～3

防錆整備格納庫移設計画についての意見交換・決議など … P4

町政を問う！14名の議員が一般質問 … P5～P19

題字紹介・職人紹介…………… P20

まちの職人紹介 Vol.10

金城 善信 さん

[嘉手納町議会ホームページ](#)

[嘉手納町議会](#)

[検索](#)

町議会を傍聴しましょう！定例会は3・6・9・12月に開かれます。

令和5年度 6月定例会

一般会計補正予算 3億392万円を可決！

令和5年第24回6月定例会が6月13日から19日の日程で開催された。本定例会へは令和5年度補正予算を含む議案7件、報告1件、請願1件が上程された。補正においては可決後の令和5年度一般会計予算総額は136億4918万円となった。



道の駅かでな (学習展示室 リニューアルオープン)

沖縄戦時下、米軍統治時代、日本復帰と嘉手納基地を巡る歴史を体験者の言葉や写真、映像で知ることができる。また、基地被害の騒音、悪臭を疑似体験できる装置の設置等、町の基地との関わりと環境実態をどなたでも知ることのできるつくりとなっています。(施設入場は無料)

件 名	議決結果
嘉手納小学校外壁塗装等改修工事請負契約について	原案可決
財産の取得について（嘉手納町立小中学校 ICT 機器購入）	原案可決
指定金融機関の指定について	原案可決

請願第1号

紹介議員福地義広で令和5年6月13日委員会へ付託された「陸上自衛隊勝連分屯地への地対艦ミサイル部隊配備及び陸上自衛隊沖縄訓練場への兵たん部隊配置等、私たちの生命身体財産を脅かす全ての施策に反対し、私たちの生命身体財産を守るための意見書の提出を求める請願」。同請願は第4次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団、団長新川秀清、同議員団代表諸見里宏美、同嘉手納支部長福地勉の連名による請願である。委員会審議において「自衛隊が国民を守ろうとすることについて何ら問題はない」「なぜ県民を守ろうとしているのに反対するのか」「嘉手納基地があるので攻撃されてしまう、守る意味でも配備必要では」などの意見があり、請願は全会一致で不採択とすべきと決定された。その後、本会議においても意見書提出の請願は不採択と決定された。

賛否が分かれた主な議案 (令和5年第24回定例会)

件名	議決月日	出席者数	議決者数	賛成者数	反対者数	高	福	仲	志	花	宇	古	安	新	照	當	金	奥	田	石	仲
請願第1号 陸上自衛隊勝連分屯地への地対艦ミサイル部隊配備及び陸上自衛隊沖縄訓練場への兵たん部隊配置等、私たちの生命身体財産を脅かす全ての施策に反対し、私たちの生命身体財産を守るための意見書の提出を求める請願	6/19	16	15	2	13	高	福	仲	志	花	宇	古	安	新	照	當	金	奥	田	石	仲
						原	地	村	喜	城	榮	謝	森	垣	屋	山	城	間	崎	嶺	渠
						妙	義	一	孝	勝	京	友	盛	貴	唯	利	幸	明	美	邦	兼
						子	広	也	男	一	義	雄	人	均	幸	明	美	邦	兼	榮	榮
						×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	—

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「早」：早退 議長は賛否同数以外は採決に加わらないので「-」で表示。

■物価高騰対策支援事業

①価格高騰緊急支援給付金事業

電力・ガス・食料品等価格高騰に伴い低所得世帯に対して負担軽減を図る

【対象】

- ・令和5年度住民税非課税世帯（令和4年度に給付を受けた世帯で令和5年度も住民税非課税世帯には8月頃に支給予定）
- ・令和4年度住民税課税者で令和5年度非課税世帯等は申請が必要（申請期限は10月末日）

【金額】 一世帯あたり3万円

②生活支援商品券配布事業

価格高騰に伴い町民及び町内事業者に対する支援を行う

【対象】 町民

【事業内容】

町民1人あたり5千円（通常分3千円、飲食店専用2千円）商品券を8月頃郵送。



③中小企業等エネルギー・食料品価格等高騰対策支援事業

省エネ家電商品等への買い換え費用を補助

【対象】 町内事業者

【補助金額】 対象経費の90%、または補助限度額20万円のいずれか低い金額



Q & A

こんな質問がありました

Q 情報通信管理費の一般給与が300万円余り増と、戸籍事務費755万6000円減の理由は。

A 情報通信管理費は企画財政課新設により、職員2名が3名になり増。戸籍事務費は人事異動に伴い職員3名から2名になり減。

Q ごみ収集業務委託料が246万9000円増の理由は。

A 粗大ごみ回収委託の積算日数に誤りがあり4日分約41万6000円増と、古紙回収を1人で積算していたが、取りこぼし等があり2人のほうが確実に回収できると判断しその分の約205万円を増額。

Q 外語塾の奨学金の内容と15万円減の理由は。

A 奨学金は在籍塾生に対して2万5000円支給。さらに英検やTOEIC、朝の単語テスト等の成績に応じて加算。当初新入塾生を15名見込んでいたが10名の入塾となり5名分を減額。

Q 外語塾入学者が定員割れしている状況についてその理由は。

A 今年度は入塾試験不合格の方はおらず、応募者全員が合格。定員に満たない要因については、外語塾の内容が十分理解されていないこともあるかと思う。今年度はソーシャル

ネットワークを通じてPRも取り組んでいきたい。

Q バス置き去り防止安全支援装置購入費の内容は。

A 教育委員会のマイクロバス用車内置き去り防止安全支援装置費用で、車内の点検放送や末点検のときには車外に放送が流れる。機器が故障したときの自己判断装置がついている。それと緊急SOS放送で万が一取り残された場合に、ボタンを押すことによって車外に放送が流れる装置が付いている。

Q 野国総管まつり補助金の約151万6000円増の理由は。

A 道の駅かでなで入店している店舗フーラー、空調機器の故障があり、補正予算を待てないため早期に修繕。使った分の補填という形で補正。

Q 道の駅の修繕であれば指定管理者のほうでの支出ではないかと思うが、なぜ野国総管まつり実行委員会の補助金が充てられたのか。

A 修繕料の金額が高額になると嘉手納町が負担という形になる。早期に措置しなければならぬが修繕費が足りず、一旦まつりの補助金から流用して措置した後で、今回のまつり補助金への補填となる。

令和5年6月28日

町長と議員との防錆整備格納庫
移設計画についての意見交換

●意見交換会の概要

令和5年4月28日の外務省・防衛省からの日米協議の結果について町長より説明を受けた。内容は林大臣及び浜田大臣から複数回にわたり米政府に対して建設場所や移設に係わる再検討を直接働きかけたが、別の建設場所を見いだすのは困難との結論に達し、パナループが建設できる唯一の場所として日米間で合意した。米側より騒音増加抑制対策、日本環境管理基準を厳守する旨の表明があり、嘉手納飛行場での作業は小規模で限定的であり、大規模修復は米本国で実施するとした。米側は町民の懸念に応え影響を最小限にする措置を取るとしている。

これをを受け、当山町長は説明内容を再度確認し、今後の対応を考へるとの方針を示したが、6月議会定例会一般質問で考え方を公に初めて説明を行った。内容は「計画の見直しは求めないが、計画の容認はしない」とした。また、約1年間に渡り日本政府が嘉手納町の要請を交渉した結果は残念であるが、安全性や環境問題を日本政府が確認したことを尊重し信頼する旨を語った。また、少しでも疑念のある事項を払拭する行動を講じると述べた。更に関係各位に町長の考え方を説明する方針を示した。

議員は①岩国防錆格納庫の視察②住民懇談会等で町民への説明③安全や環境問題の再確認等を町長に求めた。嘉手納町議会としては説明を受けるに留めて、防錆格納庫移設計画については今後の全員協議会で議論する。

令和5年7月4日

県議会へ防錆整備格納庫移設計
画の町の見解について説明

●町長と議員との防錆整備格納庫移設計画についての意見交換会を受け、議長・副議長・基地対策委員長の3名で県議会議長、沖縄・自民党、日本共産党、無所属の会、公明党、ていーだ平和ネット、立憲おきなわ、おきなわ南風の各会派を訪問し町の見解について説明を行った。



嘉手納野球場建設工事
安全祈願祭

嘉手納野球場建設工事安全祈願祭が6月6日に同野球場にて執り行われた。新野球場は県内では珍しい全面人工芝で、両翼100m・センターは122m。高校野球やプロ野球の公式戦対応。球場全体の収容人数は約3000人、電光掲示板や夜間照明も整備。総工費48億7100万円のうち国から75%補助。議員も多数参加し新たなスポーツの拠点に期待した。



令和5年4月27日 第23回臨時会

嘉手納町地元企業優先注により
地域経済の活性化を図る決議

嘉手納町は、事業所のほとんどを中小企業が占めるまちであり、中小企業が成長発展することは、働く人の収入増加や消費の活性化、雇用の確保、拡大へとつながることから地域経済の極めて重要な担い手となっている。本町では人口の減少など、新型コロナウイルスによる経済的影響で中小企業を取り巻く環境が大きく変化しており、その経営環境は厳しさを増している。こうした状況の中で嘉手納町においては、行政が発注する大型プロジェクト事業が嘉手納野球場の改築から始まり、地元企業優先注に大きな期待がかかることから、町は発注するすべての業務について受注した請負企業は、下請けや外注を含め、町内企業を優先的に選定するよう強く求めている。大きなチャンスを得る限り、町内企業に還元させることにより、地域経済の活性化を一層図っていきけるものと考ええる。

よって、本町の地域経済の活性化を図る観点から、町が発注する物品、公共工事の発注にあたっては、町内企業を優先すると同時に請負企業は、町内での飲食、物品の購入、下請けや外注を含め町内企業を優先的に選定するよう、決議があげられ、賛成討論の後、全会一致で可決した。

町政を問う

題字：新垣 貴人 議員

14人の議員が一般質問

(質問順)

金城 利 幸 P 6

防錆整備格納庫問題を終結させてはならない・町長の強い決意と行動を求めたい

花 城 勝 男 P 7

中学校部活動地域移行を問う

安 森 盛 雄 P 8

入札の在り方を問う

仲 村 一 P 9

肥料価格高騰で農家支援を

志喜屋 孝 也 P 10

高齢者見守りサービスに水道スマートメーターの活用を問う

古 謝 友 義 P 11

ハーリー大会中止と比謝川浚渫の早期着手を問う

照 屋 唯和男 P 12

土地の有効活用を

福 地 義 広 P 13

嘉手納基地パパープ内への防錆整備格納庫建設計画について

嵩 原 妙 子 P 14

介護ボランティアポイント制度の導入について問う

新 垣 貴 人 P 15

高齢者タクシー料金助成事業の申請条件の緩和を図れ

奥 間 常 明 P 16

定住促進事業について問う

當 山 均 P 17

公営墓地における一般公募区画の拡大を再提案

宇榮原 京 一 P 18

公共駐車場の管理運営を問う

田 崎 博 美 P 19

河川環境整備事業について





金城 利幸

詳しくは動画をCheck→



防錆整備格納庫問題を終結させてはならない・町長の強い決意と行動を求めたい

町 昨年来、要請・交渉を重ねる當山町長に改めて労をねぎらいたい。今回の日本政府から町への説明を受けて町長のさらなる強い決意と行動を求めたい。

早速、地域行政懇談会を実施し経過説明報告と町民意見の聴取を求める町民の声に対応を。

町長 すでに新聞報道や6月号の町の広報に掲載しており、町民の皆様は内容を把握していると思われる。よって行政懇談会の開催は考えていない。

町民大会の決行で即時撤回を求める町民の強い意思表示を。

町長 政府が安全と認識した当該施設の建設計画に対し、抗議や計画見直し等を求める大会は考えていない。

町 県議会では嘉手納町議会の「即時撤回を求める意見書と決議の《全会一致の可決》要請」を受けて「嘉手納町民はもとより沖縄県民へもたらされる基地被害の増大への懸念から移設計画の見直しを求める決議を《全会一致で可決》。同時に玉城県知事の積極的な国への施設撤回要求等の要請行動も展開中。政府のご尽力には謝意を表示しつつもこの機会だからこそ「パパールプ地区の騒音・悪臭被害にも苦しむ町民・県民の切実な声を」届ける責務では。結果は気にせず、町長と玉城県知事と合同での訪米で関係機関への要請行動の実施を求める。



町長 政府が安全と確認し、さらに日米のハイレベルの政府機関の協議で結論づけられていることから当該施設の建設計画に行政の立場で訪米し、抗議や計画の見直し等を求める事はしない。

町 政府説明を受けて當山町長の今の想いは。

町長 当初の説明とはかなり異なり、安全性の確認で①手のひらサイズ二つ程度以下の小規模な手作業で修復作業を行う施設。②施設自体も中身の無い格納庫。③地元の懸念に応え騒音・悪臭軽減対策で航空機の出入りでのエンジン作動は無く牽引方式。その他の対策も考慮しているとの事。今後は日米の機関に対して町側の懸念事項払拭に向けて万全な措置を強く求めている。

狭隘な嘉手納町に暮らす高齢者の安全対策として無電柱化の促進で快適な歩道改良を

町 杖での歩行や手押し車での買い物の高齢者の方々、車椅子利用者の方々に「無電柱化」で安心・快適な歩道改良促進を。狭

隘な町域での今後の可能性は。都市建設課長 歩道幅が2・5mから3m程度の歩道整備場所では電柱地中化が可能と考える。**町** 字嘉手納2番地地区の密集市街地まちづくりでの無電柱化を。都市建設課長 無電柱化推進協議会の承認を得ている。電線管理者との調整中で手法は裏配線方式。事業規模に応じて各所手法を検討する。

嘉手納町民共同墓・合葬「永代供養」の創設を提案する



町 「少子高齢化・核家族・墓の受け継ぎ手がない・墓じまい」等と嘉手納町民共同墓・合葬「永代供養」の創設を求める町民の声は増えている。用地不足の本町は読谷村との行政事務組合も含めその実現を求めたい。

産業環境課長 本町の方向性としてご提案の読谷村との一部組合で設置運営も含めて読谷村の意向を確認しながら検討したい。



花城 勝男

詳しくは動画をCheck→



中学校部活動地域移行を問う

問 取組状況及び現状と課題は。

社会教育課長 ①令和4年4月にプロジェクトチームを立ち上げた②令和4年6月にスポーツ庁、沖縄県、嘉手納中学校から運動部活動の地域移行に関する方針などを確認③嘉手納中学校の現状や要望を管理職からヒアリングを実施④今年度の中体連終了後、教職員、地域指導者との懇談会、ヒアリング、アンケートを実施し、課題の把握に努める⑤生徒の部活動地域移行アンケート調査を実施予定⑥課題は地域の受け皿や地域指導者の質、量の確保⑦利用する施設、保険の加入等がある⑧部活動の地域指導者との人材のマッチングも課題。

問 部活動数と外部コーチの人数

及びスポーツ地域団体数は。社会教育課長 部活動数14、外部コーチ18人、スポーツ地域団体は34団体。

問 中学校部活の入部は強制か。意か。その入部率は。

教育指導課長 加入は任意で、令和4年度部活動の加入率が62.5%、令和5年度が65%。

問 外部コーチ18人の皆さんに対価、報酬などの支払いは。

教育指導課長 2年に一度、1万円以内のジャージ等の現物支給。報酬の支払いはない。

問 外部コーチへ1時間1600円×18人、土日1回の52回で年間約150万円の報酬支給は。

教育指導課長 報酬等はモデル地域、先進地の事例等も含めながら検討し決めたい。

問 今後の推進スケジュールは。

教育指導課長 令和5年度から令和7年度までを改革推進期間。プロジェクトチームを中心に国や県の動向を踏まえながら、部活動の地域連携及び地域移行に向けた取組を推進したい。

道の駅かでな観光事業及び立体駐車場の問う

問 1階テナントの農産物直売所空き店舗の現状と課題は。

産業環境課長 空き店舗以降9社ほど現場確認等があり、店舗面積が広すぎる等で契約には至らない。引き続き店舗面積の分割活用など、指定管理者と協議を行い対応したい。

問 今年度観光プロモーション活動6回の具体的実施内容は。

産業環境課長 ①沖縄フェス東京②ツーリズムEXPO大阪③沖縄地域観光&物産展東京④ふさと祭り東京⑤日本観光ショーケース大阪⑥沖縄修学旅行SDGs EXPO、東京でのPR出店の予定。

問 今後は観光協会と嘉手納町内のエイサー団体との連携、合同で東京や大阪のイベントに参加して、プロモーション活動を実施することは可能か。

産業環境課長 次年度以降は観光協会と協議しながら、エイサー団体を絡めたプロモーション事業の検討をしたい。

問 今後の総額売上増と誘客増目標を考えると、立体駐車場の設置と防衛局所有土地での駐車場確保の必要性があると考えますが、行政の考え方は。

産業環境課長 次年度以降は観光協会と協議しながら、エイサー団体を絡めたプロモーション事業の検討をしたい。

問 北谷砂辺パークゴルフ場と協定を締結し嘉手納町民使用負担金補助事業が出来ないか。

社会教育課長 ユニタンザパークゴルフ場と同様な締結ができれば、北谷町の意向確認等を進めて検討したい。

問 道の駅かでな観光事業及び立体駐車場の問う

産業環境課長 立体駐車場の設置と防衛局所有用地での駐車場の確保は今後の道の駅の誘客増と利用状況を指定管理者とも協議しながら検討したい。

道の駅かでなの売上額、客数、客単価、イベント、中長期目標！

年度	売上額	客数	客単価	イベント回数
令和元年度	1千4百万円	52万5千人	算出不可	15回
令和2年度	6千0百万円	42万3千人	143円	1回
令和3年度	6千2百万円	27万4千人	226円	1回
令和4年度	2億8千5百万円	55万0千人	519円	9回
5年度目標	3億3千0百万円	60万0千人	550円	検討
中長期目標	6億0千0百万円	82万0千人	800円	検討

パークゴルフ場補助事業を問う

問 北谷砂辺パークゴルフ場と協定を締結し嘉手納町民使用負担金補助事業が出来ないか。

社会教育課長 ユニタンザパークゴルフ場と同様な締結ができれば、北谷町の意向確認等を進めて検討したい。



安森 盛雄

詳しくは動画をCheck→



入札の在り方を問う

問 備品等の入札で1社しか扱えない仕様書等を作成していないか。また、仕様書のチェックなどはどのように行われているか。

総務課長 備品等の発注についてはその物品の利用目的や利用する場所、利用形態等を勘案し、必要となる機能あるいは利用に係る要件等を備えた物品を選定できるように仕様を決定する。また、要件を備える物品の種類が限定される場合も在り得るかと思われる。チェックについては担当課における決裁をもって内容の確認が行われる。

問 1社しか扱えない仕様書もあるという事で理解していいか。
総務課長 機種の種類であるとか、扱える業者が限定されてくることは在り得るかと思われる。

る。

問 教育局についてはどうか。

教育総務課長 教育委員会においても仕様書については複数の業者が参加できるような内容に努めている。

問 コンサル等で1社しか扱えないメーカー商品が設計に組み込まれていないか。チェックなどは誰がするのか。

都市建設課長 本工事で使用する資材等に設計書、設計図書及び参考図のとおり品質規格、仕様書等と同等以上の資材を使用すること。なお、仕様に当たっては監督職員の承諾を得るものと明記している。

物価高上昇による町民の影響は

問 今月から電気料金が約2.1%値上げすることが決定している。町内全体に悪影響を及ぼすことと想定するが、行政としてできることはないか。

企画財政課長 嘉手納町生活支援商品券配布事業を実施したいと考え、6月定例会へ予算計上しているところ。町民一人当たり3千円分の通常商品券及び2千円分の飲食専用商品券を配布

し、町民及び町内事業者に対する支援を行う。

エイサーまつり

問 3年ぶりに行われるエイサーまつりの場所はどこを想定しているか。

産業環境課長 予定としては道の駅かでなで開催予定。ただし、現時点では確定ではない。実行委員会を開催し、正式な場所と日程を決定する予定。

問 どのような形で道の駅かでなと決定したか経緯を伺う。

産業環境課長 3月に最終的な実行委員会があり、令和4年度の決算報告と令和5年度の計画案が提出されており、この実行委員会の中で道の駅かでなというのが提示された。しかし、青年会からは新町通りを活用した祭りを実施して頂きたいという話もあった。最終的には決定に至っていない。

優先発注を

問 沖縄防衛局へ地元企業や物品・印刷などを含めて優先的に発注を進めているか伺う。

産業環境課長 優先発注については、商工会より最後に行ったのが平成21年度となっており、それが以降については行っていない。今後、商工会や地元企業から沖縄防衛局へ要請を行うなどの情報があった際は協力していきたい。

問 町長自らトップセールスマンとなり、局に交渉をお願いしたいかがか。

町長 商工会がそういう要請をしたいという事であれば、当然役場も相談に乗らないといけないし、一緒に行ってお願いといる事も当然に可能である。





仲村 一

詳しくは動画をCheck→



肥料価格高騰で農家支援を

問 肥料価格高騰を受けコスト上昇分を国70%県20%の補助をしている。以下何点が伺う。

①農家の定義は。

②町内の農家の件数は。

③この事業をどのように告知したか。

④昨年、何名の方がこの支援を受けたか。

⑤農家に該当しない方々への対応は。

産業環境課長 ①耕作面積の合計1000㎡以上、年間耕作日数60日以上。

②経営主のみで66名。

③役場担当窓口や集出荷施設内へパンフレットの設置。JAが行う説明会の案内をホームページや購買店舗にチラシを貼って行った。

④9名の方が補助を受けた。

⑤農業で生計の一部としていない方まで含まれるので対応は考えていない。

問 5名以上の申請が条件に入っているが、合計が1000㎡になれば申請できるのか。

産業環境課長 複数人の方の申請で行っていることは承知しているが、嘉手納町が直接窓口をするわけではなく、農協を通して手続きをするので詳細は承知していない。

問 嘉手納町独自の補助メニューがあるが、それはどのように告知しているか。

産業環境課長 集出荷施設の掲示板の活用や職員が個々の農家を回つての告知や農連協の総会等へ資料を配り説明したい。

公民館に室外灯の設置を

問 南区コミュニティーセンターの室外センサーライトと多目的広場の照明がつかなくなって大分なるが今後の対応は。

総務課長 数年前に故障により消灯しており修繕済みと認識していたが、修繕未了を確認したので再度修繕を依頼し近日中に再点灯となる予定。

問 軒下部分は照明がなく暗い状態で簡易的に祭り等に使う蛍光灯で対応している。室外灯の設置はできないか。

総務課長 自治会からも室外灯を設置してほしいと要望が出されている。その必要性、利用頻度等の詳細を提示していただければよいをお願いしている。

特別支援学級を問う

問 近年沖縄県において特別支援学級に通う生徒が年々増加している。毎年500名ずつ増えていると言われている。両小学校・中学校の対象生徒数は。

教育指導課長

屋良小学校 19名3学級

嘉手納小学校 29名4学級

嘉手納中学校 23名4学級

ここ5年で小学校1・8倍、中学校6倍増加している。

問 1学級の生徒数は。

教育指導課長 病弱学級と言語学級を除いて本町は6名から8名で編成されている。

問 学年ごとにクラス編成をしているのか。

教育指導課長 学年ごとではなく障害種別で分けている。

問 学力に関して問題はないか。

教育指導課長 個別の指導計画を立てて一人一人に応じた教育を行っている。特別支援学級は自分の力で生活できることを主にした学級。普通学級との交流を通して学びも実践していて、学力面・生活面での心配はないと思っている。

問 今後の課題と計画は。

教育指導課長 各学校に教育サポーターを6名から7名配置して担任との連携が円滑に行われるようにしている。教師の指導力や専門性の向上を図るため校内研修を通して一人一人の教育ニーズに合った支援に取り組みたい。

問 放課後の学童等の受け入れ態勢は。

教育指導課長 社協が行っているあすなろとPANDAという事業所があり53名が通われている。



子ども達に目配り、気配りを



志喜屋 孝也

詳しくは動画をCheck→



高齢者見守りサービスに水道 スマートメーターの活用を問う

問 各家庭などの水道利用量が遠隔で自動的に把握できる「スマートメーター」を導入する自治体が増えている。「使用開始を確認しました」。見守られる側の高齢者が朝に一定量の水道を使うと、登録している家族らに「元気メール」が届く、スマートメーターの他市町村の取り組みは。

上下水道課長 本格的に採用している市町村は無い。実証実験で数箇所使用している。

問 スマートメーターのメリットとデメリットは。

上下水道課長 メリットは通信で検針ができ、漏水の早期発見、高齢者の見守りサービスに活用できる。デメリットは設置に係る費用が高額。有効期限の8年

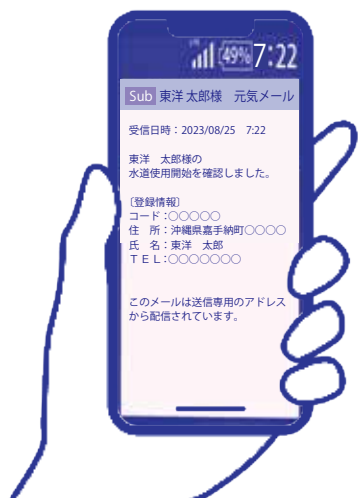
の更新費用が高額と電波の届かない場所がある。

問 これから本町のスマートメーターの取り組みは。

上下水道課長 費用が高額で検針人と比べて7倍の費用になる。今後普及し、コストが抑えられる、経営的にも問題がない状況になった際は検討していきたい。

問 単身高齢者、高齢者世帯の見守りと現在の取り組みは。

上下水道課長 町社会福祉協議会と協定を締結し、日常の業務や毎月の検針において異常水道等で確認し見守り活動を行う。



3世代同居、近居への補助金を問う

問 南城市は、3世代で同居する世帯や3世代で近所に住む世帯

を対象に、引っ越し費用の一部や同じ住宅に住む場合などに補助金を交付しており、目的と補助金の内容と対象者を問う。

企画財政課長 目的は3世代同居と子育て支援を促進、地域コミュニティの活性化、家族の絆の強化と定住促進。補助金の内容は新築・改築・購入費用として同居は上限30万円、過疎地域加算で70万円。近居は上限20万円・過疎地域加算で30万円。引っ越し費用は県外10万円・過疎地域は20万円。県内は5万円。対象者は新たに3世代で同居開始するため引っ越し等を行う子世帯の世帯主。

問 本町の3世代同居の世帯数と同居割合は何%か。

企画財政課長 2020年国勢調査で3世代世帯数218件総世帯数割合は4・2%。

問 近年の3世代同居の世帯数はどのように推移しているか。

企画財政課長 2020年218件・2015年256件・2010年318件。2010年は2020年の統計値の推移では、31%減少。

問 補助金を活用し、人口減少問題解決策としての考えは。

企画財政課長 ファミリー世帯及び若年層への支援策を検討。

自動販売機による募金を問う

問 飲料会社の自動販売機を通して、ひとり親家庭を支援する取り組みがあり、県内の福祉団体では初の試みで全国でもめずらしいとのこと。飲料会社と提携し導入の検討は。

子ども家庭課長 役場庁舎は火災時の飲料提供協定や赤十字への寄付協定が結ばれている。指定管理施設は連携し検討する。

問 募金の活用によりひとり親家庭の未来ある子どもたちへ取り組みの考え方は。

子ども家庭課長 現在募金の活用によるひとり親家庭等への支援の取り組みの予定はない。

問 本町の公共施設の自販機の台数と年間売り上げを問う。

総務課長 11の施設に60台設置。売上高は町では把握していない。

問 現在公共施設設置の自販機は募金とか寄付等ができる自販機の設置はあるか。

総務課長 公共施設設置の自動販売機のうち、寄付機能は8台。



古謝 友義

詳しくは動画をCheck→



ハリー大会中止と比謝川浚渫の早期着手を問う

問 中止の理由は。

産業環境課長 ハリー大会コース内に土砂が堆積し、安心・安全な運営が見込めない。

問 御願ハリーはできないか。

産業環境課長 開催については、役員会で相談したい。

問 比謝川の浚渫工事はいつから始まるか。

産業環境課長 令和8年度を予定している。

問 沖縄県は嘉手納町でハリー大会ができる唯一の漁港であり、安全性を確保するといっているが県との調整は進んでいるか。

産業環境課長 現時点では行っていない。

問 県は5億7千6百万円の予算を確保している。早期の着手を

要請しているか。

産業環境課長 早期の着手の要請は行っていない。

問 県は5年での事業を計画しているが、早めの浚渫工事を要望しないと来年のハリー大会もできなくなると思うが。

産業環境課長 河川浚渫工事の早期着手については漁業組合と連携しながら要望等を行いたい。

問 浚渫工事前に漁業組合の要望等を聞く話し合いは済んだか。

産業環境課長 県の担当部署に早期に漁業組合との話し合いを要請したい。

問 以前から大雨の後比謝川上流から流木が大量に流入してきて漁船に被害が発生している。対策は考えているか。

産業環境課長 漁業関係者からの意見を踏まえて検討したい。

問 浚渫工事中は仮設の船着き場を設けるのか。

産業環境課長 正式な計画等は承知していない。

問 釣り人とのトラブルは起きないか。

産業環境課長 早い段階で浚渫工事の周知を要望したい。

問 観光の目玉であるカヤックの対応策を検討しているか。

産業環境課長 早期にカヤック業者と調整するように要望したい。



嘉手納漁港の風景

熱中症対策を問う

問 熱中症警戒アラートが発表されたとき、町の対応は。

町民保険課長 町のホームページと広報誌で周知している。

問 室内でエアコンの推奨をしているが、電気代の補助は考えているか。

企画財政課長 1人当たり5千円の生活支援商品券配布事業を実施する。

問 真夏の炎天下で運動会練習はするのか。

教育指導課長 運動会は11月下旬頃を予定しており、練習期間も2週間程度である。

問 学校と消防の連絡網は取れているか。

教育指導課長 消防や警察、医療機関と連携し、迅速に対応できるように図っている。

問 熱中症対策としてミストシャワーが設置されている箇所があるか。なければ設置する予定はあるか。

総務課長 ミストシャワーが設置されている箇所はなく、今後設置する予定もない。

問 熱中症特別警戒アラートが来夏から実施されるが、町として避暑施設は完備しているか。

町民保険課長 町役場、ロータリープラザ、道の駅かでな、各コミュニティセンターが該当する。

問 一人暮らしの高齢者対策はできているか。

福祉課長 民生委員や各区の見守り隊の活動を通して、社会福祉協議会と連携を図りながら、高齢者世帯の熱中症対策を行っている。

土地の有効活用を



照屋 唯和男

詳しくは動画をCheck→



問 字久得地、町民の家周辺の原野地帯の間を整備して有効活用する計画ができないか。また今現在どの計画がされているか、原野の状態の一部残っている地域を新たに整備していくことができるか。

企画財政課長 嘉手納運動公園の一部として位置付け、現在、利用計画はない。住宅用地等、昨今の人口減少問題等、スポーツツーリズム等で用地に関し議論をする要素は多数持っている。**問** 町民の家周辺と屋良第二児童公園の周辺が今後整備し住宅地として使えるのでは、人口増につなげるには住むところが必要。土地の用途変更、見直しはどう行うのか。土地利用基本計画の中で公園指定されているから、公園用地としてしか使えな

いというのではなく、見直して公園用途を排除し、住宅整備できる土地に変更するにはどう取り組み、どう進めていくのか。

企画財政課長 公園用地となった場合、公園の網をかぶっているのを網を外す方法があるかハードルが結構高い。

問 都市公園法の市町村全区域及び市街地地域の住民1人当たり都市公園面積が全県で平均12.2㎡、沖縄県が約10.9㎡。嘉手納が倍の21.4㎡。土地の狭い狭い敷地に密集して暮らしていると言いつつ、公園はほかの市町村、全県と比較し1人当たり2倍以上の公園敷地を持っているのは、土地の活用方法として無駄が多いのでは。

企画財政課長 公園決定等あった時代と現状は何年もたつて、状況が変わっている。町が置かれている現状等も含めて対応策を考えていきたい。

今年度の町内イベントを通して町の活性化

問 コロナ禍にて中止されたイベント、今後行う予定の主なイベントは、これまでと違う内容は

あるか。規模や場所等。

産業環境課長 野国総管まつり、農林健児の塔慰霊祭、平和祈願祭、公民館まつり、町民スポーツ大会、陸上競技大会、児童交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、町民ウォーキング大会、二十歳の集い、新春町民の集い、平和資料展などを予定。近々でいうと、ビアフェスタがあり、泡盛まつりは計画を予定。方法や場所、規模は通常開催を予定し、平和資料展がビデオ放映を町役場エントランスホールに変更予定。

農業者の支援を

問 2014年2月に1次産業で盛り上げようと町の未来案が提案されもうすぐ10年。どのように取り組み、結果をどう見ているか。特に農業生産物の販路拡大計画は。

産業環境課長 町民農園の開園、優良種苗購入補助金を制度化。販路は、出荷施設をとおし出荷されるものやファーマーズ、学校給食共同調理場への出荷。販路拡大は農家の方々の考えを聞き出し検討。

問 調査内容に新たな特産品の選定、付加価値の高い特産品の選定とあるが実状は。

産業環境課長 特産品にビワ、柑橘、サトウキビ。付加価値の高いものとして、野菜類の栽培植、物工場、キノコ栽培植物工場、エビ陸上養殖システムと3工場考えられていたが財源計画が併せてされていない報告書になっており、現時点で計画は進んでいない。



問 農家の方の収入を安定させていこうというのが一番大きな目的。品質の良いパイン、シタケを表に出していける状況づくりが行政として後押しできるか。

産業環境課長 安定供給ができるのであれば、ふるさと納税返礼品もあり得ると思っている。



福地 義広

詳しくは動画をCheck→



嘉手納基地パループ内への防錆整備格納庫建設計画について

問 本計画について、これまで町長は「日米両政府に強く働きかけて状況を注視したい」と答弁。しかし結果は町民の懸念や不安は一切無視され「パループが建設できる唯一の場所」との結果となった。町長の所見を伺う。

町長 町として日米協議に望みを託していたが、その要請が実らず大変残念。一方、今回の建設計画に関する結論は、町から要請を受けた政府が解決のため大臣にも御尽力をいただき米側と鋭意協議を重ね、施設の必要性や安全性、地元への影響など問題をしっかりと確認した上で結論に至った。町が懸念していた安全性についても政府が米側から確認しており、それらを町と

して十分認識しながら検討する必要がある。ただ、施設の安全性が確認されたとはいえ、大規模な防錆整備格納庫が民間地域付近に建設されることになれば、やはり心情的には何らかの影響を及ぼすのではないかとの懸念を抱かずにはおれない。こうした懸念の払拭を図ることが極めて重要。万が一にも住民に影響を及ぼすような事故や問題の発生があつてはならず、万全な措置が講じられなければならない。よって本事業案については、これまでの経緯や日米協議の内容、当該施設に対する懸念等を総合的に勘案し、今後は、日米関係機関に対し、町側が抱く懸念の払拭に向けて、万全な措置を確実に講じていただくよう強く求めていく必要があると考える。

問 この結果について広報かでは本年6月号に掲載した意図は。

町長 日米協議結果は町民にとって重要な情報であり掲載した。

問 この結果について町民は納得しているとお考えか。

町長 広報掲載で、報告、説明の内容については一定程度、ポイントを絞って捉えているので、

御理解いただいていると思う。けれども、納得したかどうかについては把握をしていない。

問 行政懇談会等で町民に説明する機会を設ける考えはないか。

町長 マスコミでも内容について掲載され、また広報誌でも説明

をしているので、特に改めて説明会を持つことは考えてない。

問 日米協議で国は具体的な場所を示し協議したというが、国の

示した具体的場所とはどこか。

町長 防衛に照会をした結果、米軍との協議において示した場所

については、詳細に示すことは米側との関係もあることから困難であるという回答がきた。

問 米側は運用に関して日本環境基準を遵守すると言っているよ

うだが、これまでの経過から信用できるのか。

町長 質疑応答の中で遵守するということで約束を取り付けたという話を聞いている。

問 格納庫内作業については手のひらサイズの修理補修をする

のことだが、そのために30mの高さで野球場ぐらいの大きさの

建物が必要だというのは理解不能だが、町長はどう考えるか。

町長 そういうこともあるのでは

ないかというふうに思っている。疑問点があれば、去る議会の皆さんへの説明の中でもあつたようだ。文書での回答も可能だとのようであり、それで確認をしてみたいかがか。

問 仮に事故が発生した場合は外交ルートを通じての米側からの情報提供や環境補足協定もありこうした枠組みを活用するとなっている。しかし、河川湧水等からPFASが毎年高濃度で検出され、汚染源が米軍基地であるとの蓋然性が極めて高いと指摘されている現状においてさえ基地内に立入調査を認めないのが米軍である。国の説明をまともに信じることができないが、町長はどのようにお考えか。

町長 万が一の事故の場合には、政府において適切な対処がなされるものと考えている。





高原 妙子

詳しくは動画をCheck→



介護ボランティアポイント 制度の導入について問う

問 高齢化の進展に伴い、介護需要が増大している。介護支援のボランティア活動を通じて地域で交流し「支え合い」の関係構築を促す「ボランティアポイント制度」が全国の自治体で注目されている。ボランティアに参加する介護予防と地域貢献を図るため「介護ボランティアポイント制度」を導入してはどうか。

福祉課長 現在のところ介護ボランティア制度の導入については考えていない。



ヤングケアラーの支援 について問う

問 昨年9月から10にかけての県の実態調査の内容と嘉手納町の実態は。

子ども家庭課長 調査対象は県内の小学5年生から高校3年生の全ての児童生徒13万6065人を対象とし、児童生徒本人が、Webアンケートホームにて回答する形で実施された。当町でヤングケアラーと思われる児童生徒は39人、うち支援の急がれる児童生徒が3人。内訳は、小学生が0人、中学生が31人、高校生が8人という結果。

問 学校現場での現時点の取組と課題は。

教育指導課長 欠席や遅刻が多い、授業中のいねむり、精神的に不安定などの表出されている子どものサインを職員がキャッチして、全職員間で情報を共有している。急がれる支援の際は、スクールソーシャルワーカーが関係機関と連携を図り、サービスの紹介から利用に至るまでをサポートしている。課題としては、ヤングケアラーは家庭的なデリケートな問題で、本

人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であつても表面化しにくい構造がある。そのために、教育相談週間の実施や定期的なアンケートの実施により、実態把握に努めていきたい。

「女性デジタル人材育成 プラン」について

問 過去3年間はコロナ禍の影響で経済が困窮し、現在では物価高騰により日常生活に深刻な支障をきたす状況が続いている。そんな中、昨年4月に政府では女性の就労支援、女性の経済的自立、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消等を目的に「女性デジタル人材育成プラン」が決定された。町としての取組、見解は。

企画財政課長 ジェンダーギャップとは、男性と女性の間で存在する参加アクセス、機会、資源、パフォーマンズなどの面での不平等や格差のことを指す。男女間での社会的な差異や不均等性のことをいう。本町も取組を強化する必要があると考えている。

生理の貧困について問う

問 女子児童トイレへの生理用品の無料配布の実施を提案してきた。その後の取組はあるか。

教育指導課長 今年度は、まちの校長会や教頭会で、学校トイレへの生理用品の常設について、協議検討を行ってきた結果、トイレへの設置を実施していきたい。

問 まず第一歩、進んだということ、大変うれしく思う。教育長の生理用品貧困問題に対する見解を伺う。

教育長 生理の貧困問題で大切なことは、社会全体で生理のある人が生きやすい社会について考え、それを実現することだと考えている。その第一歩として生理のある児童生徒が誰にも気兼ねすることなく、生理用品が入手することができるよう、今年度から学校のトイレに生理用品を設置していくということに決定をした。

町長 今回は、教育委員会のほうで、学校現場とも十分詰めながら、最終決定をしたということである。そのことを尊重して対応していきたい。



新垣 貴人

詳しくは動画をCheck→

高齢者タクシー料金助成事業 の申請条件の緩和を図れ

問 高齢者が元気で暮らせるまちづくりの実現に向けて、事業を実施しているが、助成条件に課題が浮上している。申請者は非課税だが子どもと同居し、所得を合算した世帯収入が課税世帯になるケースや世帯で車両を所有している場合は認められていない。世帯は一緒でも家計は別という事は多い。また、子どもが車両を所有していても、日中は仕事で親を送迎できないケースも多い。高齢者の活発な外出を支援する事は、健全な心身の維持に繋がる。また、最近は運転するのが不安という高齢者の声も聞く。個人の事案ごとに条件を緩和してはどうか。その課題を問う。

助成条件の緩和について町民

からの要望はないか。

福祉課長 同居家族の合算による課税世帯や車両所有でも対象にして欲しいという要望はある。

問 助成条件の緩和について検討会議は行われているか。

福祉課長 課内で条件緩和を模索している。

問 多くの高齢者が活用できるよう助成条件の緩和は。

福祉課長 内容の充実も含め、慎重に検討。

町地域防災計画を問う

問 町民の災害時の行動は、事前対策を進め、被害を最小限に抑える努力をする必要がある。いざという時、訓練以上の事はできず普段、やっていることしかできない。防災行政を問う。

町 が主体となって行う町民対象の防災避難訓練の実施計画は。総務課長 総合防災訓練の実施に向けて検討する。

公共施設でのタトゥーの 考え方を問う

問 日本における刺青の歴史は古く、琉球の時代にも刺青文化「ハ

ジチ（針突）」がある。町のタトゥーへの考え方は。

施設利用の許可や基準は。

教育指導課長 許可や基準は設けていない。

問 子ども達への配慮が求められる。学校等で保護者の送迎、行事参加時の対応は。

教育指導課長 校内への立入りに規制はしていない。

旧中央公民館の跡地利用計画 と若年層向け住宅建設を問う

問 解体工事から1年半が経過した。土地の有効活用観点から早期の計画策定が必要だ。現状を問う。

計画の策定の時期と跡地利用の候補事業は。

企画財政課長 現在、議論中だが民間活力による有効活用を検討。住宅建設や観光客用の宿泊施設、医療施設を検討している。

問 町の発展には若年人口の増加が必須だ。若い世代の方々が嘉手納町に住み税金を納め、子どもを産み育てていく。そして、地域の活動や行事に参画する事で、まちが活性化されていく。とはいえ、本町独自の基地が存

在するという特殊事情により、慢性的に住宅用地の確保が困難という現状もある。そのようなことから、他市町村へ生活の地を求めるケースが見受けられる。若年世代の人口増加と定住化を図るべく、子育て世代に優しく低廉な家賃で入居できる公営住宅の建設が求められている。

若年世代の人口増加及び定住化を図るため、若年層向け公営住宅の建設を提案してきた。その見解は。

企画財政課長 重要な施策だが、様々な観点から慎重に判断する必要がある。



水釜高層町営住宅付近の風景



奥間 常明

詳しくは動画をCheck→



定住促進事業について問う

問 令和4年度人口減少対策住環境整備検討業務の経過説明及び結果について問う。

①何項目あるか②家賃補助に関する項目は③どのような検証をしたか④令和3年度の人口減少対策検討業務委託料との関連性は⑤第5次総合計画後期計画にどのように反映されているか。

企画財政課長 ①与条件の整理。調査、事業、企画、調整。テーマ別調査。ロードマップ振興管理、方向の検討以上4項目。②子育て世帯に向けた家賃補助の検討、子育て世代への経済支援の検討、金銭面での支援策については十分に検討すべき。③嘉手納飛行場周辺における国有財産活用及び嘉手納町大規模開発可能地の検討、住まいコンシエールジュ事業、令和3年度嘉手納

町人口減少対策検討業務の検証。④可能性調査や事業の掘り起こし、各種データから本町の人口動態の調査、町の特性に応じた住宅施策を展開したい。⑤事業の進捗を計りたい。

問 ⑥嘉手納2番地地域南街区計画事業の進捗状況は。都市再生住宅の同居状況は⑦北街区計画について今後の見通しは⑧兼久海浜公園駐車場を、住宅用地に転用し、別に立体駐車場を新設しては⑨空き家の入居促進を図るためのリフォーム補助金を創設しては。

都市建設課長 ⑥22棟中12棟移転補償契約締結。うち8棟が移転解体済み、未解体4棟。残り10棟は今年度中に契約予定。当初予定の時期より多少遅れているが進捗している。都市再生住宅入居状況は、6月5日現在18戸中10戸入居済み。⑦北街区全14棟中3棟契約済み、残り11棟については概算の補償額を提示し、移転先等について調整中。⑧現状の場所で駐車場整備を予定。⑨新たに創設するのか、速やかな事業実施に努めたい。

問 町民の家周辺を住宅用地として再開発を。

企画財政課長 公共用地の有効活用について、人口減少対策やスポーツツーリズムの観点からも検討したい。

交通行政について

問 水釜大木線西区交差点内、停車車両問題について、今できる最善策は。

都市建設課長 再度県警本部、交通規制課と協議を行う。



通行の妨げとなっている、交差点内停止車の恒常化。

教育行政について問う

問 新教育長の「教育行政についての所信表明」を問う。

教育長 学校教育においては、今まで以上に、子ども達一人一人が自分への信頼を高め学びに向かうとともに、多くの仲間と協働し課題を解決する資質能力を育むことが求められている。そ

こで、教育理念に「いい学校をつくりましょう」を掲げ、皆が幸せな学校、ウェルビーイングな学校づくりとして、①自分の良さを活かし、夢を持たせる「夢実現プロジェクト」②自分の夢に近づくための勉強をする「将来に生きる学びプロジェクト」③社会に通用するマナーを身につける「優しいさいっぱいプロジェクト」④友達とのかけがえのない思い出をつくる「イベント実行プロジェクト」。社会教育分野は、人材育成、国内外の交流促進、次代の担い手となるリーダーや、国内外で活躍する国際性豊かな人材育成に向けて、学ぶ機会を提供し、奨学金制度の充実に努めていく。生涯学習の推進では、学習活動の支援、人材の発掘及び育成等に取り組む。地域の歴史、文化の保存継承、活用、ふるさとの芸術文化に誇りと愛着を持つまちづくりの推進。スポーツ・レクリエーション振興は、町民誰もが親しめる生涯スポーツの充実に取り組む。各種体育施設の整備充実、各種団体への支援及び連携強化を図り、中学校の部活動を段階的に地域に移行する。



当山 均

詳しくは動画をCheck→



公営墓地における一般公募区画の拡大を再提案

閭現町墓地計画の対象期間（令和7年度）を短縮し、新都市マスタープランのスタートと合わせて第2次町墓地計画を策定し早々に一般公募を実施するか、また現町計画の一般公募区画数を追加拡大することを求める。
産業環境課長 一般公募は次期計画策定の中で検討したい。

ただ、久得霊園で墓じまいにより約10区画の空きが出ているので、この空き区画について一般公募できるよう検討したい。

買い物困難地区解消に向け、更なる施策の充実を

近年、東区・中央区及び県営団地付近の小売店が相次いで閉店し、地域住民は食料品や日用品

品買い物に支障を来している。数年前から「高齢者外出支援タクシー料金助成事業」を実施しているが、その地域には本事業の対象外の高齢者や自家用車を所有していない方も多数おり、根本的な買い物困難地区解消には至っていない。

まちづくりの観点からも町行政横断的な施策の展開がさらに必要だと考え、質問を行う。

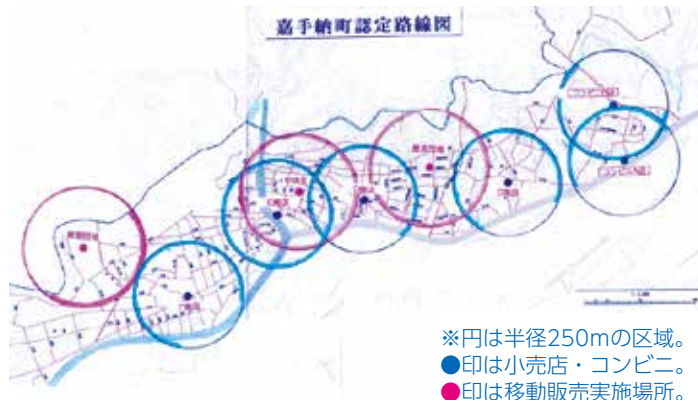
閭現在、移動販売店が巡回している場所・頻度・事業所名を問う。
福祉課長 中央区なかゆくい広場で毎週水曜日午後3時から30分間、幸地スーパー、ベルガモット（パン屋）及びおっぱ乳業が移動販売を実施。また、屋良町営住宅でも毎週水曜午後3時10分から30分間、コープおきなわ及びおっぱ乳業が実施している。

なお、今年3月までは県営住宅においてもコープおきなわが移動販売を実施していたが、収益の関係で3月をもって撤退した。

閭日常的な食料品や日用品を扱っている民間業者等と「（仮称）町内移動巡回事業契約」を締結したうえで移動販売車を貸与し、巡回頻度や場所を増設し、買い物困難地区解消に取り

組むことを提案する。
福祉課長 移動販売のみの実施では継続していくことは難しい。移動販売プラスの仕組みづくりを検討していきたい。

徒歩で買い物可能範囲の想定図



防錆施設移設強行に対し、至急町・議会・町基地対協及び自治会長会共同での反対表明を

閭今年4月末、パパール地区内への防錆整備格納庫移設計画に関し、防衛省及び外務省代表者が来庁し、「現行計画での移設を進める」との日米両政府の

協議結果を報告した。報告を受け1月半余が経過しても何ら動きがない状況に、町民から「町及び議会に対する不安・疑念・苛立ち・憤りが入り混じった叱咤」を受けることが増えた。

ついては、至急、町基地対協及び自治会長会に説明・理解を得たうえで組織内手続きを経て、町・議会とともに4者共同での「容認できない」決意の反対表明することを提案する。

町長 4者で反対の表明をするということは考えていない。

町営住宅管理人報酬額の増額に対する検討結果は

閭令和4年9月議会一般質問において町営住宅管理人報酬月額増額を提案した。検討結果は。
都市建設課長 本町が管理する全ての住宅における管理人の報酬月額を分析した結果、管理人1人が1戸を管理する単価に最大77円の格差が生じている。

今後、単価を一律にしておく方向で全ての管理人に対し説明を行い、理解を得たのちに例規を改正していきたい。



宇榮原 京一

詳しくは動画をCheck→



公共駐車場の管理運営を問う

問 東駐車場と中央駐車場の直近2年間の実績は。都市建設課長

	収入	支出	差引合計
令和4年度	東駐車場(335台) 6,065,000 中央駐車場(196台) 2,584,600 券売機 10,264,000 合 計 18,893,600	17,174,183	1,719,417
令和3年度	東駐車場(335台) 6,168,800 中央駐車場(196台) 2,980,500 券売機 9,912,000 合 計 19,061,300	13,331,639	5,729,661

※令和4年度は1,719,417円の黒字で令和3年度は5,729,661円の黒字である。

問 12時間以内100円料金の見直しの検討を。都市建設課長

見直しする必要があるものと考えている。

問 東駐車場の一部を立体駐車場に増設し、中央駐車場を廃止する。更地となった中央駐車場跡地に宿泊施設や商業施設等を誘致するなどの活用を検討しては。都市建設課長

化の検討はあるが、東駐車場は米軍との共同使用のため、時間が必要する。

問 嘉手納町再開発駐車場の直近2年間の実績は。都市建設課長

	収入	支出	差引合計
令和4年度	ロータリー第1駐車場 737,100 ロータリー第2駐車場 1,463,300 新町第2駐車場 5,100,200 夜間定期券等 304,900 合 計 7,605,500	14,006,779	▲6,401,279
令和3年度	ロータリー第1駐車場 791,400 ロータリー第2駐車場 1,718,100 新町第2駐車場 4,099,200 夜間定期券等 202,200 合 計 6,810,900	12,742,747	▲5,931,847

※令和4年度は6,401,279円の赤字で令和3年度は5,931,847円の赤字である。

問 ゲート式機械設備の現状と他の種類の導入の検討は。都市建設課長

機器の更新時期となり、種類等は商工会及び関係事業者と協議をしたい。

問 2時間無料から1時間無料への見直しは。都市建設課長

赤字経営のため料金体系の見直しは必要である。

問 新町駐車場(八茶坊前)の現在の管理状況は。都市建設課長

職員で午前1回、午後1回の計2回の巡回。

問 通り会、関係機関との協議は。都市建設課長

様々な方法を検討したが、結論は出ていない。

問 有料化コインパーキングの導入を提案するが。

都市建設課長 関係機関と協議し、コインパーキングの必要性が確認できたら採用する方向で。

問 兼久海浜公園駐車場の現在の管理状況は。都市建設課長

指定管理者のかでな振興で施設解錠を行って。

問 兼久海浜公園リニューアル計画での駐車場の配置は。都市建設課長

現在の駐車場の場所を活用する。

問 放置車両の対応は。都市建設課長

6月30日をめぐに撤去させる予定。

問 土地利用を図る上から立体駐車場を増設し、空きスペースを活用を。都市建設課長

立体駐車場の整備スペース確保は困難。

観光振興に関して

問 第2次観光振興基本計画の途中経過として成果と課題は。産業環境課長

観光協会の設立、比謝川自然体験センターと道の駅のオープン。コロナで道の駅の来場者が減って客単価も伸びていないのが課題。

問 観光協会設立の目的と評価は。産業環境課長

町の魅力を発信

し、持続的な観光づくりを担う。観光プロモーション事業の受注。

問 観光プロモーション事業の目的と概要について。産業環境課長

観光振興と町の魅力を発信し、観光誘客を行う。

水道行政について

問 将来にわたり持続的な経営を確保するためには、経営見通しに基づく経営基盤の強化を進める必要がある。水道事業での経常収支比率が100%を割り、採算が取れていないと思うが、現在ではどのような状況か。上下水道課長

令和4年度決算で400万円の赤字となっている。したがって、料金改定は早急に実施しなければならない。

問 沖縄県企業局は、電気料金や建築資材の値上がりで経営状況が悪化しているとして、市町村へ供給する水道単価を値上げする方向であるが、本町の水道事業への影響は。上下水道課長

企業局による水道単価の値上げが実施された場合、料金の改定幅により本町でも料金改定を実施する必要があると考える。



田崎 博美



詳しくは動画をCheck→

河川環境整備事業について

閼水と緑のオープンスペースのうおいの構築はいかにしてなすか。川原や河川敷を近自然河川工法による改修をしてはいかがか。

都市建設課長 本町を流れる比謝川は2級河川で沖縄県管理の河川である。県に確認したところ、嘉手納町域内での河川整備の計画は現在のところはないと伺っている。しかしながら県では、比謝川下流堰を撤去する方針を打ち出している。堰撤去に伴い危惧されることにに対し県に要請書を提出している。

閼水質浄化対策をいかに図るかということで水車、それから滝、沢、せせらぎの構築により水生生物の住環境保全を図れ。**都市建設課長** 比謝川は沖縄本島最大の流域面積の河川で、沖縄

市源流から下流へ向け各支流が合流し、河口の嘉手納町では相当量の水量が流れている。大雨時には水位の変化が著しく、議員提案の水車などの構造物の設置は困難かと考えている。堰撤去後に県と意見交換を行いながら植栽等についても専門家の意見を加えながら対応していきたい。

閼河道整備と周辺空間を融合させる対策は。河川敷には八重桜、枝垂桜や枝垂れ花梅、さがり花等ちゃんとした方向で展開すればもっと風光明媚なグリーンベルトが出現できるのではないかと、研究検討を。

都市建設課長 下流堰撤去に際し、嘉手納町から沖縄県に幾つかの要請を行っている。比謝川沿いに位置する屋良城跡公園に接した県管理の親水テラスや周辺散策などの再整備を行う検討をしていきたい。

閼水生生物の生態、陸生の生物の生態、ホタル、オオゴマダラ、メダカ、闘魚等の絶滅危惧種の保全対策を図れ。

都市建設課長 堰撤去後の状況を確認しながら専門家の意見を伺いながら検討していきたい。

滝とさがり花



害虫の食害による防除対策

閼近年、松、デイゴ、柑橘類の被害が増殖しているがその対策について。

産業環境課長 松は松喰い虫、デイゴはデイゴヒメコバチが代表的な病害虫だが、その予防対策として薬剤の樹幹注入が一般的である。ただし専門的な技術を要するので農業者等に作業依頼することをお勧めしている。作物によって様々な病害虫が介在するため個々の農家などが適切な薬剤を選別し自己責任で防除対策を行うことになる。

法定外普通税及びふるさと納税を活用し自主財源の確保を図れ

閼昨今、各自治体では自主財源の確保を図るべく、宿泊税、派

遣型ふるさと納税、ふるさと支援納税等が導入されているが、嘉手納町においても構想を練るべき時期と思うがいかがか。

税務課長 導入に当たっては、財政面での必要性を探り、また税目の設定の可否等について慎重な検討が必要になると思われる。現在のところ、法定外普通税について町で検討していないが、今後は地方自治体における導入状況を注視していきたいと思う。

閼超富裕層が持っている軍用地資産にふるさと納税の制度の周知を図って自主財源の拡大を図っていただきたいと思うがいかがか。

企画財政課長 ふるさと納税は日本の税制上の制度の一つで納税者が自身のふるさととする地方自治体に寄付を行うことにより所得税や住民税の非課税枠を活用することができる制度である。ふるさと納税は地域の活性化や地方自治体の財源支援の手段として利用されている。ふるさと納税制度を広く周知し、寄付額向上に努めていきたいと考えている。

田仲康榮元副議長が 旭日双光章受賞

政府より令和5年4月29日に令和5年春の叙勲者が発表され、嘉手納町議会元副議長の田仲康榮氏が旭日双光章を受賞されました。田仲氏は、昭和56年1月から令和3年1月までの9期36年の永きにわたり、地方自治の振興発展に尽力されました。在職中は、議会活動に専念し、副議長、議会運営委員会委員長等の要職を歴任し、町政発展に多大な功績を残し、貢献されてこられたことにより、この度の叙勲の栄に浴されました。



議会情報をチェック!

議会インターネット中継
配信開始!



嘉手納町議会ではインターネット中継を行っています。ホームページや携帯からでもご覧いただけます。

常任委員長・副委員長 実務研修会

令和5年5月10日「所管事務調査の意義と仕方について」講師は沖縄県町村議会議長会アドバイザー石垣氏。①委員会制度について②所管事務調査について③常任委員長・副委員長として心がけたい事項等を学ぶ。常任委員会設置の目的と意義を再確認の上、初心に帰り、町議会の活性化にさらに寄与する調査・審査活動を目指し、リーダーシップ発揮を誓った。



主な議長公務日程

- 5月11日 三連協総会
- 12日 ゆがふう塾入塾式
- 16日 中部地区議長会県外研修(福岡)
- 22日 町村議会議長・副議長研修会(東京)
- 30日 嘉手納地区防犯協会定期総会
- 6月6日 野球場安全祈願祭
- 8日 比謝川行政事務組合議会臨時会
- 6月12日 三連協要請行動
- 23日 観光協会定時会員総会
- 7月2日 沖縄全戦没者追悼式
- 6月6日 第18航空団司令官交代式
- 13日 基地対策協議会総会
- 18日 中部地区議長会県内研修(与那国)
- 三連協目視調査(その他13件)

題字紹介

議会だより



嘉手納小学校6年
えのかわ ひかり
栄野川 光莉 さん

全体のバランスが難しかったです。特に「議」が難しかったです。

職人紹介

【ロータリーカデナ】
金城 善信 さん



目になります。趣味は三線で区民祭りや色々なイベントに参加しています。これまで多くの皆さんに支えられた事に大変感謝しております。

タイヤ1本からでもお受けいたしますので、気軽にお越しください!【営業時間】9時〜17時(月曜日・土曜日)

【ロータリーカデナ】〇九八一九五六一二六八四

昭和58年、31歳の時に店を開業。当初は名護まで横断幕を張りに行き店を宣伝したことを思い出します。

業務はタイヤ、ホイールの取り付け・パンク修理・ホイールバランス調整・オイル交換などを行っており、今年で41年

